



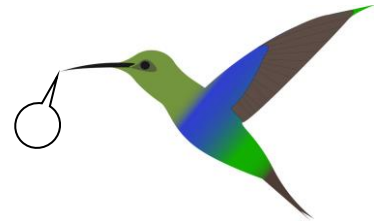
校長通信

# 空の飛び方

## ハチドリのひとしずく

南米エクアドルに伝わる「ハチドリのひとしずく」という物語があります。

森に大火事が起こり、ほとんどの動物たちが逃げだした時に、一羽のハチドリだけが池に行って小さな口いっぱい水を飲んで火を消すための努力を続けました。その行為を無駄だとあざ笑う他の動物たちにハチドリはこう答えました。「私は私にできることを精一杯やっているんだ」と。



また、貧困や病気にあえぐ人たちの救済にその生涯を捧げた修道女マザー＝テレサは、こんな言葉を残しています。

「自分がしていることは、一滴の水のように小さなことかもしれないが、この一滴なしに大海は成り立たないのです」

「自分は、いわゆる偉大なことはできないが、小さなことの一つ一つに、大きな愛を込めることはできます」

この一つの物語と二つの言葉には、小さな力の積み重ねと心を込めて行うことの大切さが込められています。本校では、多くの生徒たちがボランティア活動に参加していますが、その中心となっているのが、生徒会執行部、インターアクトクラブ、そしてMSリーダーズです。このうちインターアクトクラブとは、ロータリークラブによって提唱された青少年や高校生による社会奉仕クラブのことです。本校では、各務原中央ロータリークラブのご指導とご援助のもと、部活動の一つとして位置づけて活動しています。生徒会執行部と協力しながら、これまで熊本災害募金活動、岐阜清流マラソン応援ボランティア、東北復興支援バザー（東北うまいもん市）、あしなが学生募金活動、歳末助け合い募金活動などを行ってきました。今後は2月17日（金）、19日（日）にポリオ撲滅募金活動、3月1日（水）にコートジボアールに靴を贈る活動を行う予定です。またMSリーダーズ活動としては、学校周辺の清掃活動や交通安全活動などを常時行っています。生徒たちが行っていることは社会全体からすれば、ほんの些細なことかもしれませんが、しかし、心を込めて、継続的に行うことで、豊かで潤いのある地域社会づくりに貢献できるのです。



【あしなが学生募金活動・岐阜駅前】

ボランティア活動はあくまでも「無償性」を求めるものではありませんが、結果的に、他人や自然を慈しむ心を育て、社会における自己の役割を自覚させることにつながります。無償の精神から始めたボランティア活動が、知らず知らずのうちに、自分自身の大きな財産となっていくのです。「ハチドリのひとしずく」、今、自分にできることから始めてみませんか。